

電気と保安

No.516

2021
5・6



Smile INTERVIEWに登場していただいた「旭電機化成株式会社」の皆さんと担当保安員に、
仕事やお客さまに対する思いを言葉にしていただきました。

01

いち
一からアイデアを形にする技術力で、下請けから自立型企業へ

自社商品開発に注力し、下請け企業を脱却

1950年に設立された旭電機化成株式会社は、「アイデアを暮らしに活かしてみんなでHappyになろう！」の会社理念のもと、プラスチック成形加工業として事業を展開しています。本社は大阪市にあり、1967年に三重県伊賀市に青山工場を展開、2015年には第二工場も新設しました。青山工場の特長は、製品の金型加工をはじめ、塗装・印刷、複数のパーツの組み立て加工を一貫して行える生産システムであること。それにより、組み立て工程で問題が発生すればすぐに成形課や技術・開発担当にフィードバックし、解決できるスピード感が強みです。また、2020年からは工場内にクリーンルームを設置し、品質管理がシビアな医療機関向けの製品にも対応しています。

設立当初は、製品部品などの受注生産が売り上げのほとんどを占める下請け企業でした。しかし、バブル崩壊による受注激減を機に下請け脱却を図り、自社製品の開発に注力。業務用厨房施設向けブレンダーの製造販売に乗り出したのち、1995年には自社ブランド「スマイルキッズ」をスタートさせました。現在も受注生産を行っていますが、その割合は3割程度。自社商品部門を



SMILE POI

02



社員一人ひとりが考え、やりがいを持って
仕事に取り組める会社経営

旭電機化成流アメーバ経営で活性化

旭電機化成では、独立採算で運営する小集団に分け、その中でリーダーを任命し、共同経営のような形で会社を経営していく「アーメバ経営」を実践しています。この手法のメリットは、部署ごとで利益を管理することで、社員が経営者視点で物事を考えるようになることです。積極的にコスト削減や生産の効率化、節電の実施などに取り組むようになり、結果として会社全体の利益に繋がっています。また、年に2回開催される経営発表会では、全経営情報を社員に周知。部署の成績やアイデアの提案数などを反映して社員に利益を還元するしくみになっており、社員のモチベーション向上が実現しています。

自由な発想で販路を拡大していく

プラスチック成形加工業という汎用性の高さを活かし、2014年から展開されたのが医療用の検査用採尿具「ハルンキット」です。先見の明に優れた社長の声から開発が始まり、採尿しやすく、検査しやすい上に環境にも配慮した製品が誕生しました。尿でがん検査が行える研究結果が出たことや、コロナの影響により自宅での採尿が推奨されたことで需要が増え、昨年度の出荷数は300万本超え。医療の分野にも歩を進めました。

青山工場では、20年以上前から地域貢献の一環として、地元の小学校の工場見学や職場実習を受け入れ、子どもたちにものづくりの面白さを伝えています。アイデアを自分たちの力で形にする醍醐味を味わえる会社だからこそ、ものづくりのバトンを未来に繋いでいけるのかもしれません。



- A** クリーンルーム内、検査用採尿具自動組立機。
- B** 青山工場では、構内に各部門があり、一貫生産を行っています。
- C** 50トンから680トンの射出成形機を保有。
- D** 組立では20mのコンベアを2台設置。
- E** 業務用、家庭用ブレンダーの測定を1台ずつ実施。
- F** 地元小学校の工場見学会を長年行っています。



To: 中部電氣保安協會

社員みんなで節電意識を高めながら
大幅な電気料金削減を実現できました。

「電気と保安」を読んで電力デマンド監視システムについて知り、すぐに相談しました。契約電力のしくみや工場の機械やエアコンの稼働タイミングを説明してもらい、早速翌年から導入。契約電力を1/2以上引き下げることができ、電気代も1/3程度に抑えられ、期待以上の経費削減が叶いました。その他にも、古くなったキュービクルの更新や高濃度PCB使用製品の処分など、技術者の視点で提案してもらえるので安心です。

担当者

デマンドの計測データを活用しながら設備更新プランを計画し、蛍光灯をLEDに、射出成形機を油圧式から電動式に変えるなど、積極的に検討して実行してくださいました。これからも常時データを確認しながら、保安や節電に繋がる提案をしていきたいと思います。